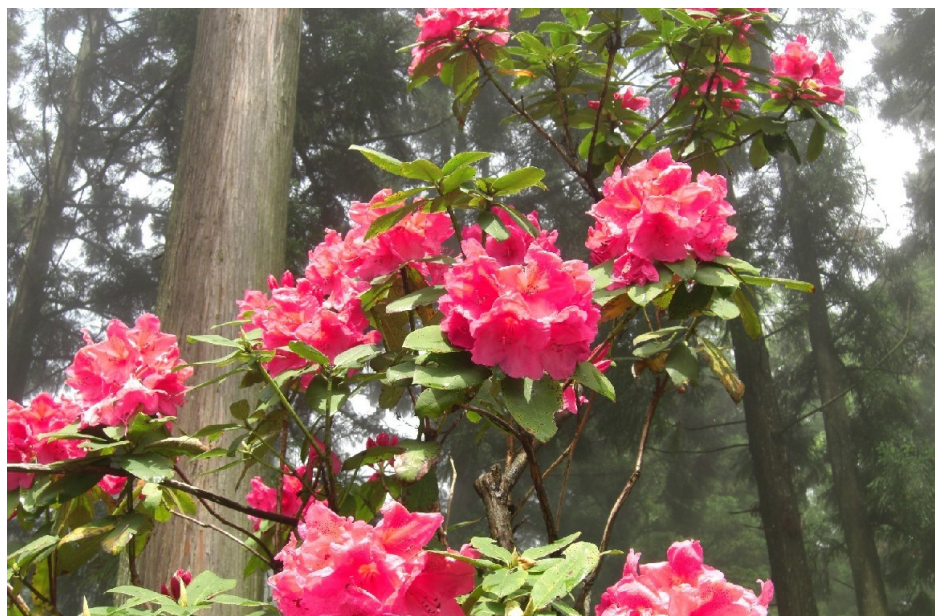


雲辺寺事業所安全報告書

2008年



雲辺寺ロープウェイ

雲辺寺トリプルリフト

四国ケーブル株式会社

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社にとり、最大の使命でありますお客様の安全輸送に関し、常に全社員が安全意識を持ち、お客様に快適な乗物として頂けるよう接客サービス面を含めた環境整備を継続して行い、当社の社是であります『お客様に安全と快適と感動のお布施を行する。』を実行してまいります。

また、各事業所とも施設の点検、整備を確実に実施していくと共に、20年度には、7月に雲辺寺事業所において電気設備の更新のため、運休を伴う大規模な設備更新工事を予定しております。

一方、スノーパーク雲辺寺におきましては、より効率的な運営を検討し、サービス面での向上に努め、ウィンタースポーツの発展に寄与したいと考えております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

今後とも、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

四国ケーブル株式会社

社長 赤川 正樹

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（安全管理規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。

- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

自社責任による事故発生をゼロにする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 索道運転事故

1) 雲辺寺ロープウェイ

ありませんでした。

2) 雲辺寺トリプルリフト

ありませんでした。

(2) 災害(地震や暴風雨など)

1) 雲辺寺ロープウェイ

ありませんでした。

2) 雲辺寺トリプルリフト

ありませんでした。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

1) 雲辺寺ロープウェイ

① 平成19年9月17日、制御装置故障により2時間運休しました。

② 強風による運休は、11日間、延べ20時間30分ありました。

③ 雷による運休は、4日間延べ3時間10分ありました。

2) 雲辺寺トリプルリフト

① 平成19年12月31日、主原動機付属部品の故障により12時間運休しました。

(10時よりナイター終了時間の22時まで)

② 強風による運休は、3日間延べ13時間50分ありました。

③ 天候不良(雨)による運休は、1日1時間ありました。

(4) インシデント(事故の兆候)

1) 雲辺寺ロープウェイ

ありませんでした。

2) 雲辺寺トリプルリフト

ありませんでした。

(5) 行政指導等

1) 雲辺寺ロープウェイ

ありませんでした。

2) 雲辺寺トリプルリフト

ありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

1) 雲辺寺ロープウェイ

- ・ 基本動作の励行
- ・ 設備の老朽化による事故、輸送障害をなくする。(予防保全)
- ・ 係員のミスによる事故、輸送障害をゼロにする。
- ・ 定期検査の確実な実施

2) 雲辺寺トリプルリフト

- ・ 基本動作の励行
- ・ 係員のミスによる事故、輸送障害をゼロにする。
- ・ 定期検査の確実な実施

(2) 人材教育

1) 雲辺寺ロープウェイ

- ・ 連絡会を定期的で開催し、その都度問題点、周知事項等の確認をする。

- ・ 従業員の業務上の体験(ヒヤリ・ハット等)・経験、お客様からのご意見、そして提案事項等、全員が内容を共有できるように記録ノートを設置し、記録する。
- ・ 技術係は定期的に勉強会を開催し、技術レベルの向上に努める。また、研修会資料、新聞等の事件事事故例を照会し、原因を検討し事故防止に努める。

2) 雲辺寺トリプルリフト

- ・ 営業開始前に、朝礼を実施し、連絡事項、注意事項等の周知徹底を図る。
- ・ 従業員の業務上の体験(ヒヤリ・ハット等)・経験、お客様からのご意見、そして提案事項等、全員が内容を共有できるように記録ノートを設置し、記録する。
- ・ 定期的に救急・救助訓練を実施し、臨時雇用者等のレベル向上を図る。

(3) 緊急時対応訓練

1) 雲辺寺ロープウェイ

4週ごとに作成する勤務割り表に救助訓練、予備原動機運転訓練の予定を交互に入れ、習熟する。また、年末年始輸送安全総点検に併せて、消防署の立会いの下、搬器からの救助訓練を実施する。

2) 雲辺寺トリプルリフト

シーズン営業開始前に、救助訓練、予備原動機の運転訓練を実施し、習熟に努める。

(4) 安全のための投資と支出

予防保全の理念の下、各設備の補修、更新を継続的に実施する。また、安全の維持・向上のため、安全管理委員会の巡回により不安全箇所を早期改修、改善及び従業員の不安全行動の抽出に努める。上記、記録ノートの提案事項の内容を検討し、順次処理する。

*平成20年度の投資予定は次のとおりです。

1) 雲辺寺ロープウェイ

- ・ 搬器走行機2輪軸受交換
- ・ 主原動機、制御装置の更新（運休7月22日～8月8日）
- ・ 支柱、懸垂装置受索輪ゴムライナ交換、調節滑車ゴムライナ交換
- ・ ガイドシープ滑車のオーバーホール及びゴムライナ交換

- ・ 山頂駅舎点検台、ホーム屋根、手摺り等の塗装

2) 雲辺寺トリプルリフト・スノーパーク雲辺寺

- ・ 休憩所の増設
- ・ ICS メーカーによる点検整備
- ・ 圧雪車キャタピラ等の整備
- ・ スクール用のコースを造成
- ・ バギー、スノーモービルの整備
- ・ 夜間照明の改良
- ・ チェアキッドの整備・改修

(5) 運輸安全マネジメント評価及び保安監査について

平成19年12月4日(火)、13:00~17:00、マネジメント評価インタビューが実施されました。

インタビュー対象者は、社長、安全統括管理者、運輸営業部長、総務経理部長の4名です。

また、12月4日、17時以降に救助訓練・予備原動機の運転を実施、12月5日~12月6日には雲辺寺ロープウェイ、雲辺寺トリプルリフトについて、保安監査が実施されました。

安全マネジメント評価、保安監査について、特に行政指導等の指示・改善事項はありませんでした。

(6) 工事による運休予定

平成20年7月22日~8月8日まで、電気設備更新の工事のため運休いたします。

お客様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、20年経過した設備の安全性向上のための工事でございます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

- ・ 社長 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- ・ 安全統括管理者 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

- ・ 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理
その他の技術上の事項及び事故防止に関する事項の業務を統括管理する。
- ・ 技術部副部長 安全統括管理者の指揮の下、安全統括管理者の安全に関する業務を補佐する。
- ・ 事業所所長 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の業務を補佐する。
- ・ 運輸営業部長 輸送の安全の確保に必要な要員の確保に関する事項を統括する。
- ・ 総務経理部長 輸送の安全確保に必要な財務に関する事項を統括する。

当社、安全管理体制図は別図のとおりです。

末尾に別図添付

6. 利用者の皆様との連携とお願い

より安全で信頼される **ロープウェイ、リフト、そしてスノーパーク雲辺寺** をつくるため、皆様からの声を役立てます。どうぞ、ご意見をお寄せください。

『お客様の声をかたちにしていきます。』

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

四国ケーブル株式会社

雲辺寺ロープウェイ事業所 TEL 0875-54-4968 FAX 0875-54-4979

スノーパーク雲辺寺 TEL 0875-54-3805

ホームページ <http://www.shikoku-cable.co.jp/>

E-mail info@shikoku-cable.co.jp

安全管理体制図

(別図)

四国ケーブル株式会社

